

ブナ科種子（ドングリ）豊凶モニタリング速報

秋のツキノワグマ(以下、クマという)の出没を予測する基礎データを得るため、毎年、生息地域におけるブナ科種子の結実状況（ドングリの豊凶）をモニタリングしています。

本年も、8月から9月前半にかけて、ブナ3箇所、イヌブナ1箇所、ミズナラ9箇所、コナラ10箇所、クリ6箇所の計29箇所について、目視により調査し、豊凶を判定しました。

その結果、ブナ、ミズナラが「凶作」、イヌブナ、コナラ、クリが「並作」となり、府全体では「並作」であるが昨年より不作であると判断しました。

ブナ科種子の結実が不作の時には秋のクマの出没が多いといわれています。これからのクマの出没に十分な注意が必要です。

これらの結果は、クマが生息している地域の広域振興局等に情報提供し、地域における獣害対策の参考に資することとしています。

ブナ科種子の豊凶状況（京都府）

樹種	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
ブナ	並	凶	並	凶	並	凶	並	凶
イヌブナ	凶	凶	豊	凶	凶	凶	凶	並
ミズナラ	並	凶	凶	凶	凶	凶	並	凶
コナラ	並	凶	凶	並	凶	凶	並	並
クリ	並	凶	並	凶	並	並	並	並
府全体	並	凶	並	凶	凶	凶	並	並



ブナ林での調査の様子